

個別最適化の教育環境を

まだ見ぬ社会課題を深堀していく



学校法人七松学園 認定こども園七松幼稚園 株式会社 Luci
理事長・園長 亀山 秀郎 X 岡田 浩司

「静寂なスペース」で幼稚園の教育環境を最適化

LIVREATH (リヴレス) を導入した背景とこれからの未来について語り合いました。

LIVREATH との出会い

岡田 まず LIVREATH について何をきっかけに知りましたか？

亀山 ICT に関する展示会に参加した際、多くの企業が映像設備について展示されている中、(株)Luci さんのブースでは LIVREATH が展示されており目に留まりました。

岡田 実際、LIVREATH 入ってみていかがでしたか？



亀山 一見閉鎖的な家具に見えますが、それが吸音素材でできている事を聞き、中に入って体験してみようと。展示会場は大変雑音が大きいところなのですが、入った瞬間すべての音が遮断され、雑音が一気に軽減されるような感じがありました。そこでこの商品は ICT という領域ではなく、教育環境のところでいいものが見出せるんじゃないかと考えた結果、発達の凸凹のある園児に対して「集中するような空間」「落ち着けるような空間」に役立つなと思いました。

岡田 発達の凸凹と LIVREATH が直感的にどういった点で結びつきましたか？

亀山 子供たちが集中する場というのが、天井が低くて布団が収納されている押入れの中のような空間。ゆっくり絵本読む、おままごと遊びをする狭い空間のサイズ感と LIVREATH は非常に当てはまる所があり、閃きましたね。

誰もが共存できる空間を創り出す

岡田 ブースを実際に導入していただいた経緯について教えてくださいませんか？

亀山 本園には 300 人以上の子供がおり、やはり様々な音が聞こえてきます。それは単に会話だけでなく、泣声や歌声など。一方でそのような音がとても苦手なお子さんもいらっしゃいます。そういった発達の凸凹がある子供たちと同じ部屋の中で一緒にいられる空間を創れないかと悩んでおりました。



子どもの安全性も含めて、ブースの中で保育者と子供も入れて、「落ち着ける場」と「集中できる場」をどうすれば確保できるか。Luci さんにイメージパースを作っていただき、協議していく中で LIVREATH の導入を決定しました。

岡田 ありがとうございます。我々も素人ながらにこういう使い方をするだろう、さらにこういう形だったらもっと面白いじゃないかと想像を膨らましてイメージパースを作りました。そういうビジュアルがあるのは決め手になりましたか？

亀山 展示会で見た LIVREATH は、オフィスの中にあるものというイメージが強かったのですが、ご提示いただいたイメージパースを見ると、先生と子供が LIVREATH の中で過ごす様子が具体的に伝わり、私が教育環境の中で取り入れたいと思い描いていたイメージと一致したので、これなら導入できるのではないかという気持ちになりました。



イメージパース

園児にとって落ち着ける場所に

岡田 実際ブースを導入いただいてどんな使い方をしておりますでしょうか。

亀山 本園 2 階に自分だけで落ち着きたい、クールダウンしたい子供向けのフリースペースに LIVREATH を設置しています。フリースペースはどのような子でもアクセスできる場にあり、保育室の雑踏がしんどくなった子が落ち着く場として利用することや、子供同士で落ち着いた場所を探してこっそり遊ぶ場としても機能していますね。しんどくなって落ち着きたい子供同士が合流して一緒に入ることも。そのような使い方をしております。

岡田 LIVREATH の 90% はオフィスに導入しております。その理由として、働く側の能力を発揮しやすくする為にパーソナルスペースや心理的安全性を確保できる空間のニーズが高まってきております。そのような点で似ている部分があると感じました。



2 階に設置している LIVREATH

簡単に分解できることでレイアウト変更が可能に

岡田 導入して良かった点を聞かせていただけますか？

亀山 最初にパースのやり取りをして行く中で、どのような場所に設置すれば空間にマッチするのか話し合いに乗っていただけたところが非常に良かったです。また、園内のレイアウトを色々変えることがありますので、エレベーターでの移動、搬入しやすいサイズに簡単に分解することもでき、子供の実態に合わせて場所を変えられるように工夫されている点が素晴らしいです。

またブースのデザインが子供にどうフィットするのかを考えていただいたおかげで、親しみやすいものになりました。子供が足のすねをよくぶつけることや、ブースに乗る可能性



もありますので、角部分を丸く滑らかに加工する等「耐久性」と「安全性」の部分を工夫していただいたのがとてもよかったです。

岡田 LIVREATH を教育環境で導入頂くことが初めての経験でしたので、幼稚園で使用されることを前提とした安全性に配慮した仕様を協議し製品に反映出来たことは貴重な経験となりました。

LIVREATH は多様性を引き受ける

岡田 最後の質問になりますが、ズバリ LIVREATH は教育環境の課題を解決すると思われませんか？

亀山 昨今、教育にも多様性が求められる時代になってきました。その多様性を本格的に引き受ける為に LIVREATH は非常に有効だと感じています。教育環境には様々な課題があり、その場で学ぶ子供も多様です。こういった多様な子供のニーズに合わせてデザインを変えて LIVREATH を導入することで、子供にとって学びを進めたり、落ち着いた環境を提供したりすることができるので、課題解決に役立つと考えております。

個別最適化の教育環境を

一教育環境の未来について思いをお聞かせください。

亀山 教育環境では個別最適化というワードがございます。それは個々の状態に最適な教育をするということです。日ごろのビジネスは大人同士の会話の中で行っておりますが、子供からプロダクトに対してアイデアが出てくると、より幸せが出てきます。子供自身が参加することによって教育環境が作られていくこと、目標としては世界の子供たちが参画できるようになることが理想です。Think Globally、Act Locally (シンク・グローバリー、アクト・ローカリー) という言葉があるように、やはり子どもの力だけでは難しいと考えております。教育環境であれば教師が子どもに対して授業を行います、その中に企業が入る事がこれからの教育の当たり前になってくると思います。

教師はただ教科書の内容を一方的に教える事ではなく、子供達の意見を吸い上げて教育を立ち上げ、立ち上げた教育に関して教師だけでなく企業の方も参画することにより個別最適化されます。

例えば、この LIVREATH の製品開発を子供達が支えるとなると個別最適化された、より具体的な教育環境になります。今回御社のプロジェクトが教育業界に入ってきていただいたことは未来志向であると思っております。

まだ見ぬ社会課題を深堀していく

一LIVREATH を立ち上げ 3 年経ちましたが今度の展望について教えてくださいませんか？

岡田 現在 LIVREATH はオフィス家具として一定の顧客のニーズを捉えつつありますがそのニーズをより明確に仕様に落とし込み、販促を強化しビジネスを拡大させることと今回のように私が想定していなかった「未だ見ぬ課題」に大変興味がありますので更なる発見を続けるための営業活動を福西電機様と共に実施して参りたいと思っております。



製造 株式会社 Luci
販売 福西電機株式会社

【商品仕様】
素材：メラミン
吸音材：高性能吸音材
張地：ポリエステル 100%

価格：オープン
納期：約 1.5~2 ヶ月